

会 議 録

1 会議名	平成27年度第4回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成27年7月23日(木) 午後2時00分～午後3時40分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】 太田正, 束原勸, 神山光男, 川津昭夫, 大越典夫, 北見幸夫, 長谷川良子, 江連脩身, 石川修, 鈴木敏正, 長嶋秀子, 君島恭子, 福嶋修, 藤枝登茂子,</p> <p>【事務局】 地域自治制度担当副参事, 上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 なし 【記者】 なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 合併市町村基本計画の執行状況について ・答申書(案)の協議 (2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について ・実行プラングループ協議 ・グループ協議結果発表</p> <p>4 その他 5 閉会</p>

資格審査	
事務局	宇都宮市地域自治会議規則第3条第2項の規定により, この会議が成立する旨を報告。
1 開会	
	第4回宇都宮市上河内自治会議開会
2 あいさつ	
	太田会長あいさつ

3 議 事	
(1) 合併市町村基本計画の執行状況について	
会 長	「答申書(案)」について、事務局へ説明を求める。
事務局	「資料1」,「資料2」に基づき説明する。
全委員	(意見・質問なし。)
会 長	異議がなければ、答申書の確定としてよろしいか。
全委員	異議なし。
会 長	表紙の(案)を削除し、答申書とする。答申書が確定したので、8月20日に市長へ提出する。
(2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について	
会 長	前回に引き続き、グループで見直しの協議をお願いする。
	【グループ協議を実施】
会 長	Aグループから協議結果の発表をお願いする。
委 員	<p>Aグループの協議結果を発表する。</p> <p>まず、方策1の1番、「行事参加意欲向上」の「地域行事の実態調査」は、地域によっても違いはあるが、現在行われているものを更に掘り起こしていく必要があるので継続とした。次の「地域情報紙の歳時記を充実化」についても、本年6月号から地域情報紙に掲載し、今後も掲載していくので継続とした。</p> <p>2番、「伝統行事や伝統文化の伝承」の「まち教授の募集」についても継続で、地域情報紙での募集を行っていく。既にしもつかれや柏餅、炭酸饅頭づくりなどを小学校で教えている人がいると思う。5年後にある「伝統行事や伝統文化と学校教育の連携」と「まち教授の派遣」については、すぐにできると思うのでスケジュールを3年後に変更した。</p> <p>3番、「親子ふれあいの場の提供」の「既存行事の把握」は、子ども会・育成会に自治会を加えて継続とした。5年後までの欄にある「親子参加型行事を企画開催」は、少子化や費用、どんな催しなら多くの方が参加するのか検討する必要があるので継続とした。次の「ホームページや学校等で参加促進」も継続とした。</p> <p>方策2の4番、「地域ぐるみのあいさつ運動」の「あいさつ運動ボランティア募集」と「学校を通じたあいさつ運動のチラシの配布」、「地域全体であいさつ運動の実施」につきましては継続とし、あいさつ運動の標語を募集し、看板を作り多くの方に周知する必要があるのではとの意見があったので、あいさつ運動の標語を募集を3年後までに追加した。</p>

	<p>5番、「地域ぐるみのラジオ体操の実施」の3年後、5年後にある取組みは継続とし、スポーツ大会等の際にはラジオ体操を必ず実施するを3年後に追加した。</p> <p>方策3の6番「各種育成講座の開催」は、既に生涯学習センターなどで子供向けに昔遊びなどの講座を実施しているので全て継続とした。</p> <p>方策4の7番「スポーツ参加機会の提供」の「子どもたちが気軽に参加できるようなスポーツの内容を検討」は継続とした。なお、3年後までに、スポーツ推進員を中心にニュースポーツなど徐々に広めて回数を増やしていくという取り組みも必要との意見があり追加した。</p> <p>8番「地域資源を活かしたスポーツのできる環境づくり」の「スポーツ指導者の発掘」は継続。種目により指導者育成の期間は異なると思うが、3年後までに、現在の指導者を通じて、若い指導者の発掘を追加した。また、指導者育成の資金集めが必要ではないかという事で5年後までに追加した。</p> <p>方策5、9番の「家庭教育力の強化」の「子育ての実態調査」については継続としたが、併せて、母親に子育てについて共通の悩みなどの実態調査を実施し、行政指導を行ってはその意見があった。10番「子どもの家の交流」については、3小学校への整備は終了しておりますが、継続とした。</p> <p>以上で説明を終了する。</p>
委員	<p>Cグループの協議結果を発表する。</p> <p>方策1の1番については、Aグループと同じ意見で継続とした。</p> <p>2番についても全て継続とし、まち教授は自治会から特技を持った人を推薦してもらいリストを作成する。資格がなくても幅広い人材を集めたらいいと思う。学校単独で直接交渉して講座などを行っている所もある。</p> <p>3番の「既存行事の把握」は、子ども会、育成会を通じ継続する。5年後までは新しい行事を発掘して、立ち上がりをうまくできれば3年後までに実施できる行事もあるのではないかと思う。</p> <p>方策2の4番は、各学校で単独で行っているが、全体的には行っていないので、上河内にある地域学校協議会という組織を活用し、ボランティア募集やあいさつ運動、オアシス運動をしたり、看板の作成などを行っていくとの意見から、「地域全体であいさつ運動の実施」は継続、追加として、地域学校協議会を通じてあいさつ運動、看板の設置とした。</p> <p>5番の地域ぐるみのラジオ体操、これは継続とした。全体的に夏休み期間の朝のみ行っているところが多い。学校の行事の際には行っていないので、学校でもラジオ体操を取り入れていただければと思う。5年後</p>

	<p>には地域全体として、朝、小さな公園などで集まって行っていただければいいと思う。</p> <p>方策3、次世代を担う人材育成という事で方策1と内容が酷似しており、募集方法やニーズ調査も方策1の2番とほとんど同じという事でまとめた。</p> <p>方策4も10年後、5年後という事ではなく、できるだけ早く指導者の名簿を作成して若いリーダーをたくさん育成し、スポーツが好きな子供を増やしていけるように、資金面も考えなければいけない事なのでスケジュールを変更し、取り組み内容は継続とした。</p> <p>方策5の9番は、地域や、各家庭によっても違いがあるので、できるだけ地域で状況を把握し、情報をまめに取り、子育てしやすい地域づくりに協力するという事で継続とした。</p> <p>10番の子どもの家については、すぐにでも実施できる取り組みではないかと思われるので3年後にスケジュールを変更した。</p> <p>ご案内の方も多と思うが、ゆずっ子スクールカレンダーというものがあり、上河内の3小学校と中学校の地域学校園協議会が合同で作成している。学校行事などが記載してあり、これを活用してさらに子どもと学校と密に連絡を取り合い、素晴らしい子どもづくりをしたいと思うので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>以上で説明を終了する。</p>
<p>委員</p>	<p>Bグループの協議結果を発表する。</p> <p>方策1は、A、Cグループと同じく継続とした。年間歳時記は各自治会が主体になって実態調査し取りまとめ、情報紙の歳時記を充実化は、A、Cグループでもあったように6月号より歳時記を広報している。</p> <p>2番のまち教授に関しても継続とした。まち教授から名前を変えて保存会員という形で登録してもらおう。伝統行事や伝統文化と学校教育の連携、これは5年と待たずに3年後までという形でスケジュールを変更し継続する。資料館などの講座を拡充させるという意見があったので3年後に追加した。</p> <p>3番は、継続という形で進めさせていただく。</p> <p>方策2の4番のボランティアの募集は、地域協議会でもあいさつ運動を行う話も出ているので、ボランティアの拡充と変更し継続する。学校を通じたあいさつ運動、チラシの配布は、十分浸透しているので完了とした。地域全体であいさつ運動の実施は、やはり小学中学生だけでなく、防犯の意味を含め、大人同士でもあいさつできるような活動をしていけたらいいのではないかとこの事で継続とした。また、あいさつ運動強化月間を定め、回覧板やチラシなどで周知し具体的に行動するとした。</p>

	<p>5番は、宮っ子体操も取り入れたらとの意見があった。学校との連携は、地域と育成会とで連携に変更し継続する。5年後までの、ラジオ体操を地域全体のイベントに設定は、3年後までに変更し、あらゆる行事にラジオ体操を取り入れていけば、かなり浸透するのではないか。</p> <p>方策3は、村史編纂、農業史、食文化などがあり、旧上河内の人材バンクを利用するという事で継続とする。ニーズ調査、各種講座のメニューづくり、学校地域への紹介も継続とした。</p> <p>方策4の7番は、スポーツ推進員が、子ども達が気軽に参加できるスポーツの紹介や学校で指導などを行っているので継続していく。5年後までに地域行事に合わせてスポーツを開催し、取組みが継続するよう、クラブの立ち上げを10年後までに追加した。クラブは、学校単位くらいの小さい単位で、クラブ同士で大会を開催できれば、5年後10年後も続いていくのではないかと思う。</p> <p>8番は、スポーツ指導者の発掘と把握に変更し、継続とした。学校単位で進めて組織化していくのが大切だと思う。こうした取組みが10年後の地域スポーツクラブの設置に繋がっていくと考えられる。</p> <p>方策5の9番、3年後までに子育て実態調査の充実とし、継続する。現在保健センターで乳幼児健診時に、子育ての大変さや悩みについて、調査した事がある。また、子育て支援会議が保健センター中心にあり、乳幼児のいる方が気軽に相談できる場所もあり継続とした。</p> <p>10番は、先ほどCグループが、5年後のものを3年後に前倒しとなっていたが、我々も同じようにすぐにできる状態にあると考え、スケジュールを3年後に変更し継続とした。</p> <p>以上で説明を終了する。</p>
<p>会 長</p>	<p>全体の印象についてコメントをさせていただく。</p> <p>前回同様、グループごとの大きな差はなかったように感じた。</p> <p>継続が全体として8～9割を占めていたと思う。従って全体の評価、あるいは今後の取組みに関しては継続していく事を確認した協議がされたのではないかと思う。</p> <p>そのうえで非常に良かったと思ったのは、継続の取組みについても丁寧にご議論していただき、どの様に継続していくか、という中身で参考になる補足説明や充実させていく取組みの中での留意事項なども検討いただいた点である。もう1つは、中身の変更だけでなくスケジュールの変更についても、共通して、何も5年後、10年後じゃなくてもいいじゃないか。前倒しできるものは、もっと先にやれるというご意見が大半を占めたのではないかと思う。全体としては、グループ協議を通じて実際の進捗を評価いただいた上で、今後の取組みについて内容の充実を図</p>

	<p>るという確認をいただいたと思う。</p> <p>今回、大変重要な具体的なご提案も含めてご指摘いただいた内容を踏まえ、全体を事務局で整理させていただき、次回の会議で案としてお示しさせていただきます。</p>
4 その他	
会 長	他にご意見，ご質問等はあるか。
全委員	(意見・質問なし)
事務局	次回の第5回上河内自治会議は，後日，通知する旨を説明。
5 閉会	
会 長	以上で、「平成27年度第4回宇都宮市上河内自治会議」を終了する。